



2022年3月期 第1四半期

(2021年4月1日 ~ 2021年6月30日)

決算説明資料

ENOMOTO Co.,Ltd.

東証一部 証券コード:6928

2022年3月期 第1四半期 決算実績



2022年3月期 第1四半期決算 業績報告 ① (直前四半期比較)

- 前期後半からの世界的な自動車及び産業用機器の需要回復や、携帯端末などの消費マインドの改善基調が継続
- 工程改善と大量生産による効率化、高付加価値品の増加により、収益性も向上
- 四半期純利益の減益は、昨年度末の特別利益(繰延税金資産)計上の影響

※ 前年同四半期が新型コロナウイルス感染症の影響が極端に大きく比較対象に適さないため、直前四半期と比較しております

	2021/3期 4Q		2022/3期 1Q		期比較	
	実績 (百万円)	売上比 (%)	実績 (百万円)	売上比 (%)	直前四半期比 (%)	売上比増減 (pt)
売上高	6,238	100.0	6,866	100.0	10.1	-
売上総利益	1,043	16.7	1,196	17.4	14.7	0.7
販管費	588	9.4	553	8.1	△6.0	△1.3
営業利益	454	7.3	643	9.4	41.5	2.1
為替差損	6	0.1	11	0.2	83.3	0.1
経常利益	450	7.2	639	9.3	42.0	2.1
四半期純利益	557	8.9	482	7.0	△13.5	△1.9
1株当たり純利益	82.85円		71.69円			

2022年3月期 第1四半期決算 業績報告 ② (前年同四半期比較)

- 前年度1Qはコロナ禍の影響を大きく受けたが、期後半からの需要回復の影響で増収増益

	2021/3期 1Q		2022/3期 1Q		期比較	
	実績 (百万円)	売上比 (%)	実績 (百万円)	売上比 (%)	前年 同四半期比 (%)	売上比増減 (pt)
売上高	5,113	100.0	6,866	100.0	34.3	-
売上総利益	807	15.8	1,196	17.4	48.2	1.6
販管費	563	11.0	553	8.1	△1.9	△2.9
営業利益	243	4.8	643	9.4	164.1	4.6
為替差損	5	0.1	11	0.2	120.0	0.1
経常利益	253	5.0	639	9.3	152.6	4.3
当期純利益	171	3.3	482	7.0	181.7	3.7
1株当たり純利益	25.49円	-	71.69円	-	-	-

- IC・トランジスタ用リードフレームは、前期後半から引き続き、自動車向けや産業用機器向けを中心に好調
- オプト用リードフレームは、年明け以降は海外の交通インフラ向けなどを中心に増加
- コネクタ用部品は、自動車向け部品の需要回復のほか、スマートフォン向け部品の需要も堅調に推移

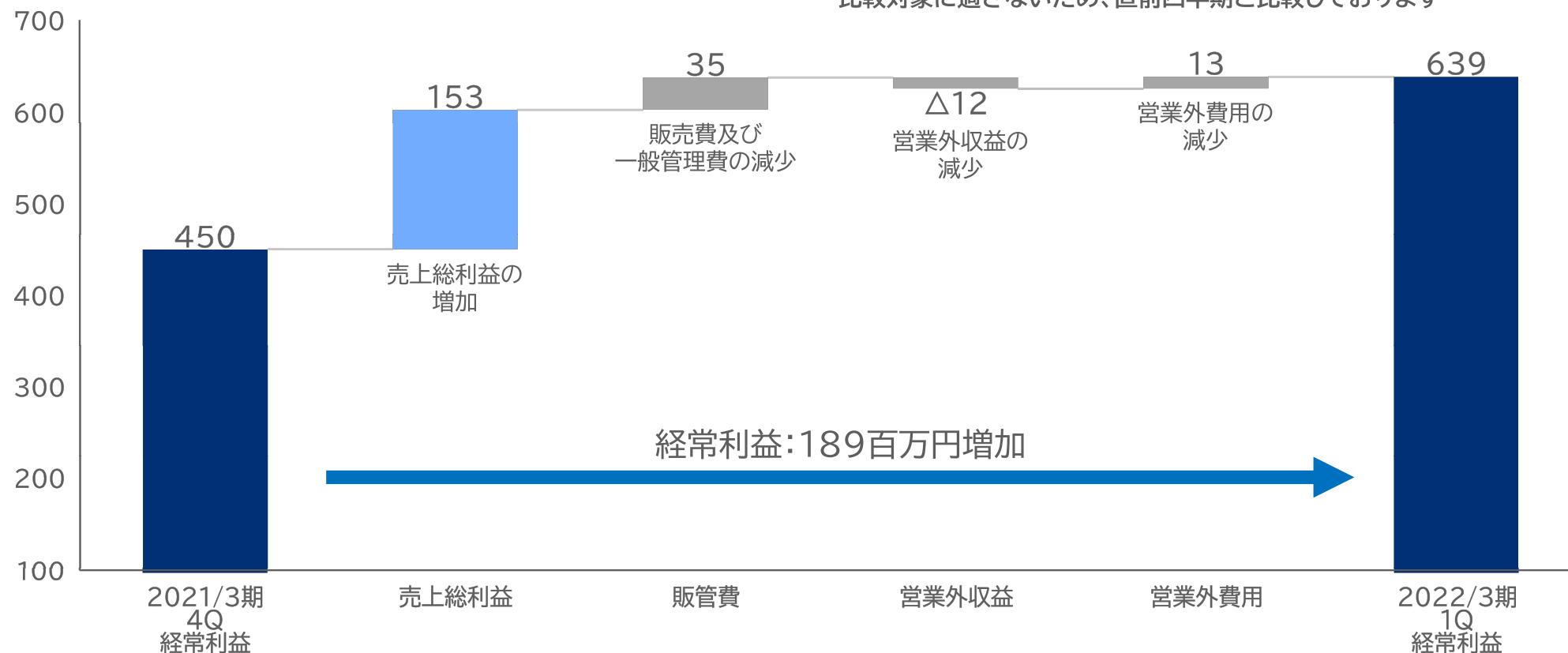
※ 前年同四半期が新型コロナウイルス感染症の影響が極端に大きく比較対象に適さないため、直前四半期と比較しております

単位:百万円	2021/3期					2022/3期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	直前 四半期比
IC・トランジスタ用 リードフレーム	1,735	1,516	1,911	2,123	7,287	2,380	+12.1%
オプト用 リードフレーム	678	615	530	814	2,639	969	+19.1%
コネクタ用部品	2,530	3,054	3,686	3,112	12,384	3,320	+6.7%
その他	168	164	168	187	688	195	+4.3%
合計	5,113	5,351	6,296	6,238	22,999	6,866	+10.1%

- ・ 売上総利益の増加…売上高の増加に加え、コネクタ・リードフレームともに高付加価値製品の比率が増加
- ・ 販売費及び一般管理費の減少…感染症対策費用等の減少
- ・ 営業外収益の減少…前四半期の助成金収入の影響等
- ・ 営業外費用の減少…前四半期に津軽工場増築に関わるシンジケートローン手数料が発生した影響

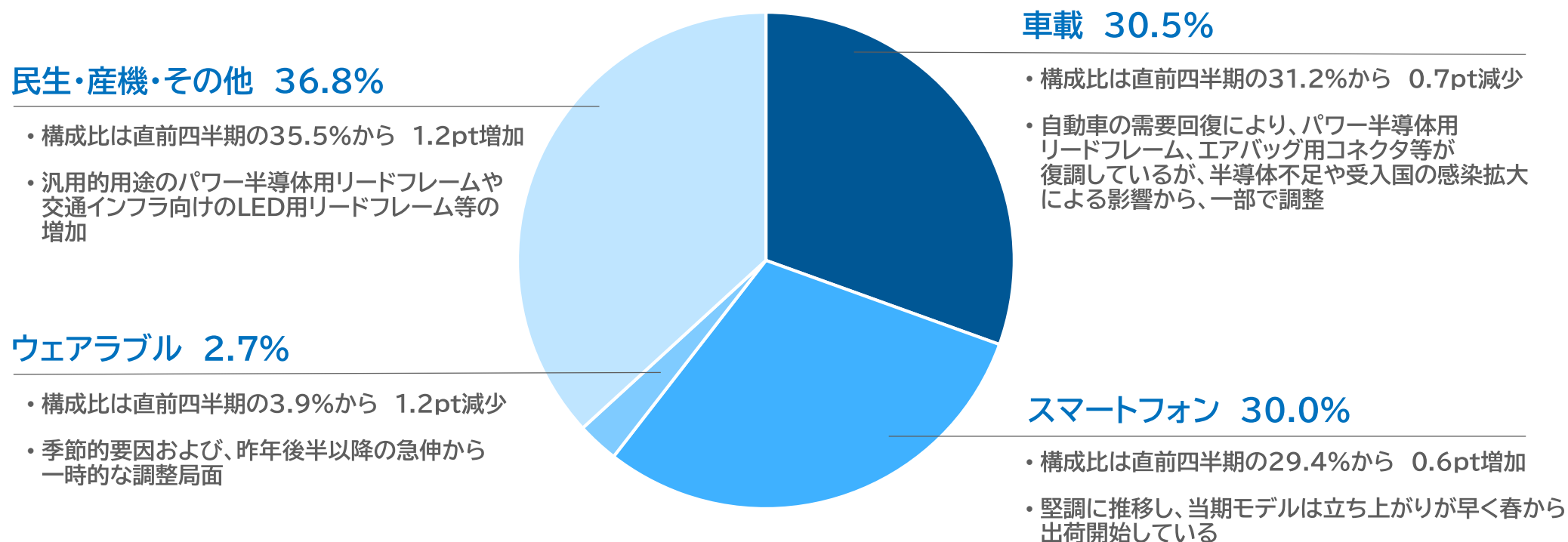
(百万円)

※ 前年同四半期が新型コロナウイルス感染症の影響が極端に大きく比較対象に適さないため、直前四半期と比較しております



- ・ 車載、民生・産機・その他の顕著な復調により、本来の各分野1/3ずつという配分に回帰
- ・ ウェアラブル向け市場は変わらず成長中であり、一時的な調整局面

※ 前年同四半期が新型コロナウイルス感染症の影響が極端に大きく比較対象に適さないため、直前四半期と比較しております



※期初に発表した業績予想から変更なし

- 今年度中に調整局面を迎える可能性もあり、通期は期初予想を継続、調整の有無が分かった時点で見直す
- 高付加価値品の増収により、営業利益は増益を予想
- 当期純利益は繰延税金資産の追加計上など一時的な増益要因がなくなることから、減益を予想

	2021/3期		2022/3期		期比較	
	実績 (百万円)	売上比 (%)	予想 (百万円)	売上比 (%)	前年比 (%)	売上比増減 (pt)
売上高	22,999	100.0	23,000	100.0	+0.0	-
売上総利益	3,815	16.6	3,850	16.7	+0.9	+0.1
販管費	2,252	9.8	2,200	9.6	△2.3	△0.2
営業利益	1,563	6.8	1,650	7.2	+5.5	+0.4
経常利益	1,561	6.8	1,600	7.0	+2.5	+0.2
当期純利益	1,489	6.5	1,350	4.6	△9.3	△1.9
1株当たり純利益	221.66円	-	200.79円	-	-	-

注意事項

事業の展望、業績予想等の将来の動向にかかる記載につきましては、歴史的事実ではないため、不確定な要素を含んでおります。

現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があることをご了承願います。